

運営推進会議等開催報告書

令和3年 2月 日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	上田 稔	電話番号	970-9101

1 開催予定日	令和 3年 2月 日 ~
---------	--------------

2 書面開催	書面開催の理由: コロナウイルス感染拡大防止の為
--------	--------------------------

3 出席者	
(1) 6 人	松山市保健福祉部介護保険課 松山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所ひろた 民生委員 地域包括支援センター小野ク グループホームご家族様
(2) 職員 3 人	施設長 佐々木 忍 グループホーム管理者 飛鷹 美知子 計画作成担当者 上田 稔

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	感染状況を見ながら、行事等楽しみのあるものを継続して提供をお願いします。
--------------	--------------------------------------

6 主な要望、助言等	
①	コロナ感染の予防をしながらのイベントなど、グループホームならではの行事提供頑張っている。服薬ミスは、服薬困難な事例が多いのでは？運営推進会議開催した場合は口頭で説明できるが、内容が分からない場合もあるので、よい方法があればよいと思う。
②	今回、運営推進会議の意見照会が、第5回分と第6回分の2回分届いたが、コメントが難しいので、とりまとめ方をもう少し検討してほしい。
③	行事を多く実施している。昨年は干し柿作りを、運営推進会議のあと、利用者と一緒にできたなど懐かしく思い返した。早くコロナが集結してほしい。
④	コロナ対策のほか、災害対策についても留意され、研修・訓練など実施している点は安心できる。利用者に、変化を感じさせる行事にも取り組んでいる。
⑤	利用者の状態に合わせ、少しでも身体を動かす時間も確保して頂ければと思う。

7 要望、助言に対する考え方	
①	服薬ミスは、薬を提供後、利用者が口から吐き出してしまう事例などもある。最期まできちんと服薬できているか丁寧に確認をするようにこころがけていく。
②③	今回意見照会のとりまとめが遅くなり、2回まとめて送付させていただいきご迷惑をかけてしまった。今後は、期日を遅れることなく、とりまとめを行う予定。早くコロナが落ち着き、通常通りの運営推進会議が開くことができるようになってほしい。
⑤	今後も普段の体操やレクリエーションなど、体を動かす活動を続けていく。

8 その他特記事項	

運営推進会議等開催報告書

令和3年 2月 日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	二神 靖夫	電話番号	970-9101

1 開催予定日	令和 3年 2月 日 ~
---------	--------------

2 書面開催	書面開催の理由:コロナウイルス感染拡大防止の為
--------	-------------------------

3 出席者	
(1) 5 人	松山市保健福祉部介護保険課 松山市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所ひろた 民生委員 特別養護老人ホームご家族様 地域包括支援センター小野久米
(2) 職員 3 人	施設長 佐々木 忍 生活相談員 二神 靖夫 生活相談員 横山 恵美

4 活動状況報告	別紙のとおり
----------	--------

5 活動状況に関する評価	
--------------	--

新型コロナウイルス・インフルエンザやノロウイルス等の食中毒について対応していると思いますが、引き続き感染予防に万全を期してください。また、利用者並びに職員の健康管理に留意してください。

6 主な要望、助言等	
------------	--

- ① 一段と新型コロナウイルスの広がりがみられる中、日々のケアや研修会等大変かと思えます。今後も継続して感染予防に努めながらより良いケアの提供を続けてください。
- ② 11月に続けて大きな事故が発生しています。大きな事故が発生すると、治療中は活動が制限されたりする為それにより身体機能の低下や認知症の悪化等出てきます。事故が起きないようにと職員も過敏になる恐れもあるので極力大きな事故は発生しないよう日頃から対応方法等、随時検討してください。
- ③ 楽しい行事が多く参加できなかったのが残念です。寒い時期は事故やヒヤリハットが増えるので気を付けてください。
- ④ 感染症対策などでご苦労が多い中定期的にイベントをして頂いていることが有難く思います。状態に合わせ少しでも身体を動かす時間も確保して頂ければと思います。
- ⑤ これからもよろしく願います。

7 要望、助言に対する考え方	
----------------	--

- ① 新型コロナウイルス感染症の猛威が続く中、今後は新しい形でのケア、研修が必要となっている。すでにオンライン研修が始まっているが、ケアの研修や委員会活動も今後充実させたいと思います。
- ② 大きな事故が続いている。転倒事故と誤嚥事故であるが、どちらもこれまでリスクが少なかったものが利用者の体調等の変化により事故につながっている。普段は大丈夫と油断せず、状態の変化を細やかに観察して事故を未然に防ぎたい。
- ③④ 少しでも暮らしの中で、体を動かしたり、楽しんだりしていただけるよう今後も楽しいアクティビティやイベントを企画できるよう努めたい。

8 その他特記事項	
-----------	--